広報けいせい

3月
2026

保育園の卒園式
みんな立派に成長しました

とうかいどう保育園
とごしの杜保育園

特集
地域との連携

地域連携推進会議の開催
グループホームりゅうりゅう
グループホームおれんじハウス

Keisei-fukushikai

社会福祉法人
恵正福祉会

この冊子は法人ホームページのブログ「広報けいせい」の記事を基に作成したものです。
左のQRコードからブログをご覧いただけます

卒園式
立派な姿で

とうかいどう保育園

2026年3月13日

とうかいどう保育園では卒園式が開催されました。卒園児の入場を今か今かと待っている保護者や関係者。

そして入場してくる卒園児の皆様の姿は保育園の園児ではなく4月から小学生になるお兄さんお姉さんの立派な姿でした。

卒園証書が手渡されます。一人ひとりしっかりと歩いて受け取ります。

入園した頃は歩くのもやっとでした。

今日は「おかげさまでこんなに成長しました」と言わんばかりに、しっかりとした足取りで歩いていました。

これまで育ててくれた保護者に一人づつ感謝の言葉を伝えました。その後、みんなで歌を歌いました。

小学生になっても、大人になっても、保育園での思い出を大切にしていただきたいです。

本日はご卒園おめでとうございます。

卒園証書を受け取ります。普段保育室で見かけるお友達の姿とは違い、立派なお兄さんお姉さんに見えました。

素敵な衣装で卒園式を迎えるお友達もいました

卒園式を迎えました

とごしの杜保育園

これからも成長してく僕たち私たちを見守っていたください

2026年3月19日にとごしの杜保育園の卒園式が開催されました。

ホールの奥から卒園児が入場します。会場からの大きな拍手で迎えられました。

卒園証書授与。名前を呼ばれると「はい!」という元気な返事をして園長先生のところまで歩いていきます。席に戻って着席する前に向かいにいる保護者に将来の夢を伝えます。「僕は将来〇〇になりたいです」

続いて順番に保護者への感謝の言葉を伝えていきます。「いつも〇〇してくれてありがとう」 みんなの感じている感謝はそれぞれ違うようですが率直な感謝の気持ちを聞いて涙を浮かべている保護者も多いように見受けられました。

そして、もう何度歌ったかわからない、そして今日最後となるとごしの杜保育園の園歌をみんなで合唱しました。

リビングで過ごす
昼前のまったりした時間です

介護老人保健施設恵の杜

介護老人保健施設恵の杜の10時を過ぎた頃です。

朝食も終えて、まったりとした時間でしょうか。ご利用者の方もリビングでくつろいでいる方が多かったです。

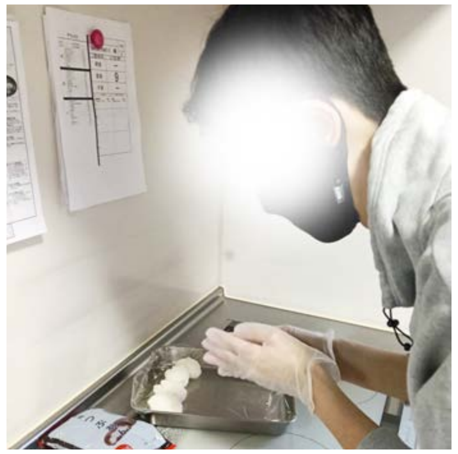
２階「桜」ユニットのリビングは窓から桜の花がよく見えます。あともう少ししたら桜の花を楽しめるようになると思いますが、今はもう少し辛抱のようですね。

この時間は、共有スペースの椅子に腰かけたり、テレビをご覧になったり、職員とお話ししたりしてそれぞれの過ごし方をされています。居室で過ごしている方もいらっしゃいます。

昼食までにはもう少し時間があるかもしれませんね。

介護老人保健施設は入所施設ですので生活の場です。ご利用者の皆様が自分のらしい生活をしていただけるよう私たちもがんばります。

見てください!!　この完成度の高いおはぎ そして大きい!!　お店でもこの大きさはなかなかみないのでは？



中にはプロレベルの作業をする方も。職員も見ていてびっくり。一緒に食事作りもしませんか（笑）

おはぎの完成です。和菓子屋さんと見間違うばかりにトレーに並べられたおはぎは圧巻です。

餅米を炊いて素材を準備するところまでは職員が行いましたが、そこから先は利用者の皆様が作ってくれました。

りゅうりゅう「グルメコーナー」
おはぎを作りました

グループホームりゅうりゅう

自分たちで一所懸命作ったお菓子は美味しい美味しい!!

グループホームりゅうりゅうではおはぎを作りました。みなさん手慣れている方も多く、職員もびっくり。

餅米などの素材は職員が用意して炊き上げましたが、そこから先はみんなで手作りです。

最初は大丈夫かな・・・なんて余計な心配をしていましたが、プロフェッショナルな作業に職員も思わず、

「上手だね、私（職員）より上手ですよ!!」

「任せてよ!!」

「じゃあご飯作るのもお任せしようかな（笑）」

「やだ」

そんなコントもしつつ気がつけば次々と美味しそうなおはぎが出来上がっていきます。

全員分のおはぎができました。皆様、ご協力ありがとうございました。

お店で売っているお菓子も美味しいと思いますが、自分で作ったお菓子は、これまた何だか美味しいんですよね。苦労した分美味しいのでしょうか。

今日は美味しいおはぎとお茶でも飲んで楽しんでくださいね。

私たちが行っているのは
重要なお仕事です

就労継続支援B型
わーくさぽーと恵の杜

今日もわーく恵の杜のスタッフが掃除のために出入りしていました

恵の杜には洗濯物の一時保管場所やリネンなどの運搬用エレベーターがある管理室のような部屋があります。

この部屋はわーくさぽーと恵の杜のスタッフが作業のために出入りする「バックヤード」のような重要な存在です。

ここには清掃のために必要な備品や、モップなどを洗うための台が設置されています。

今日はスタッフの皆様が清掃のために洗剤や消毒液などいろいろと準備をしていました。

今日も当たり前のようにリネン交換、お風呂掃除、日常清掃などをしていただいてますが、実際にこうやって裏方を見てみると、とても手ごたえのある仕事なんだと改めて思いました し、直接介護業務に携わるわけではありませんが、ご利用者のためになるお仕事なんだと思いました。

仕事をしている「ゴミの回収にきました」と言ってゴミ箱のゴミを回収してくれます。ついつい当たり前のように感じてしまいますが、感謝するべきことだと改めて思いました。

グループホームおれんじハウス
雛人形を作りました

グループホームおれんじハウスはアパート活用型のため共有エリアは３階食堂が主なスペースです。雛壇というわけにはいきませんが、折り紙で作った雛人形を飾りました。

最初に見た印象として「松本押絵雛」に似ていると思いました。

グループホームおれんじハウスでは三階食堂の角に季節の飾り付けなどを行っていますが、今回は折り紙で折った雛人形を飾りました。見ていて、何だかどこかで見たことがあるなと思っていたのですが、松本押絵雛という信州松本に江戸時代から伝わる民芸品にそっくりだと思いました。

歴史の話はさておき、ご利用者の皆様に春を感じていただこうということで、壁には桜の花の飾り付けも行いました。

お仕事で忙しくされているご利用者の皆様が雛人形や桜の飾り付けを見て少しでも、ほっこりとした気分になってくれればいいなと思いました。

松本押絵雛風の雛人形に桜の飾り付けで春を感じていただければ

特集

地域との連携

私たちはお互いに助け合っていきます

地域連携推進会議
ご家族や地域代表者をお招きして意見交換

障害者グループホーム（共同生活援助）とは「障害のある方に対して、主に夜間において、共同生活を営む住居で相談、入浴、排せつまたは食事の介護、その他の日常生活上の援助を行います。このサービスでは、孤立の防止、生活への不安の軽減、共同生活による身体・精神状態の安定などが期待されます」（福祉医療機構HPより引用）

社会福祉法人恵正福祉会では障害者の就労の安定には生活の安定が必要であるとの考えから、法人設立後の早い段階で「りゅうりゅうⅠⅡⅢ」を開設、その後令和２年より「おれんじハウス」というグループホームを運営しています。

この3月にそれぞれのグループホームで地域連携推進会議を実施しました。

地域連携推進会議とはグループホームなどの施設等と地域が連携することにより、①利用者と地域との関係づくり、②地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進、③施設等やサービスの透明性・質の確保、④利用者の権利擁護を達成することを目的として地域の関係者を含めた外部の方が参画する会議をいいます。

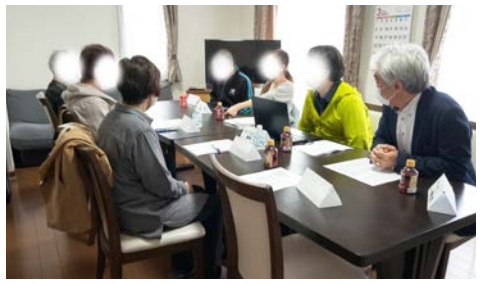
GHりゅうりゅう
地域連携推進会議

3月2日にグループホームりゅうりゅうの地域連携推進会議を開催しました。入所者2名、入所者のご家族2名、地域の関係者1名、理事長、管理者、サービス管理責任者に出席いただきました。

まずは、今日お集まりいただいた「地域連携推進会議」とはどういう趣旨なのかお話ししました。

続いて当法人について知っていただくために沿革を中心に説明しました。また令和8年度の事業計画や、サービス管理責任者からは事業と利用者の概要について説明しました。

加えて近年の物価高騰などを受けて令和8年度から食費、日用品費



の値上げをご理解いただきたいことお話ししました。

ご家族からは特にご意見等ありませんでした。最後に施設見学をさせていただきました。

GHおれんじハウス
地域連携推進会議

2月21日にはグループホームおれんじハウスの地域連携推進会議を開催しました。入居者代表、ご家族、地域関係者（民生委員）、理事長、管理者、サービス管理責任者に出席いただきました。

こちらも同じく事業所の状況（運営体制、入居者の状況、支援内容など）をご説明しました。

地域生活面では、ご家族から入居者が地域で買い物をする際、お釣りなどの会計に不安を感じる場面がある等のご意見をいただきましたが、地域関係者からは「自分でしっかりできている」「地域の理解もある」との温かい意見をいただきました。また、地域で実施されている避難訓練（起震車や消火訓練など）への参加を提案いただき、今後積極的に検討したいと思いました。

地域との連携

障害者の地域生活を支えていくためには、障害福祉サービスによる支援だけでなく、地域共生社会の実現に向けた各種取組も踏まえ、地域づくりと連携した支援を通じた、居場所づくりや社会参加支援など、地域との関係性の中での支援が必要になっているのではないかということが議論されています。

難しく言うとそういうことになるのかもしれませんが、グループホームの現場を見ていると、私たちと同じく仕事で出勤し、仕事を終えて帰ってきて食事してお風呂に入って

就寝するという当たり前の生活をしているのであって、何も特別なことはないと感じています。

私たちが地域と連携して常日頃見守ってサポートしていくことにより当たり前のことが当たり前であるようにしていきたいと考えています。これからも地域と連携することの重要性を認識していきます。

マグロ解体ショー

今年も開催することができました

特別養護老人ホームめぐみ

今年も無事開催できました。
特別養護老人ホームめぐみ「マグロ解体ショー」 ご利用者の喜ぶ顔が見たくて頑張って今年も企画しました。

「皆様、待ちに待ったマグロ解体ショーが始まります」司会が伝えると万雷の拍手が起こりました。みなさん期待されているようですね!!

見事な包丁さばきでマグロが解体されていきます。

職員の実況が華を添えます。

「いいマグロだね」

「俺が若いころ見たマグロと比べると小さいのぉ〜」

など反応は様々でした。

もちろん、今日のお食事はマグロ三昧!! 漬けにしたり、刺身にしたり。ご利用者の皆様も大変満足されていたように見えました。

笑顔で召し上がっていらっしゃる姿を見ると、色々企画をするのは大変だったけど、やって良かったと思いました。

放課後等デイサービスえがお

保護者会を開催しました

放課後等デイサービスえがおでは定期的に行っている保護者会を開催しました。

また、品川区の生活介護「ぴっころ」さんの所長さんをゲストティーチャーでお呼びして色々な情報など教えていただきました。

「18歳の壁」と言われていますが、18歳までは制度が整えられているものの、18歳以降の子どもたちの生活に不安を抱えている方が少なくありません。18歳以降のサービス提供の時間が短くなると言うのは良く話に上がることです。

今回は生活介護ピッコロさんに話を聞いて不安を解消してもらおうとゲストティーチャーとして来ていただきました。色々貴重なお話をお聞きすることができましたし、保護者からの疑問点などもわかりやすくお答えいただくことができました。

ありがとうございました。

心強い「助け手」です

グループホーム
おれんじハウス

おれんじハウスのご利用者で、就業先の事業所が諸事情により休みになった方がいました。

何とありがたいことに、おれんじハウスの職員の応援をしてくれるということでしたのでお言葉に甘えて手伝っていただくことにしました。

早速ですが青い発泡スチロールに入った食材が届きましたので運んでいただきました。これ、けっこう重いので大変助かりました!!

お休みになったものの職員の手伝いをしていただいて感謝です

この後も食事つくりのサポートなどしていただきました。

お休みになったものの、こうやって職員の手伝いをしていただき本当に感謝です。心強い助け手の登場で今日のご飯は一段と美味しく出来そう?

食材の入った重たいケースを軽々と持ち運んでいただき大変助かりました。職員ではこれが大変なんです･･･

外回りの掃除をしました

わーくさぽーと阿久和・はーとさぽーと阿久和

天気も良かったので体を動かすためにも外に出てゴミ拾いをしました。手分けしてゴミを拾っていきます。

普段何気なく歩いている道路ですが、ゴミ拾いをしてみると、思ったよりもたくさんのゴミが落ちていることがわかりました。ゴミ拾いも大切な作業なんですね。

普段は気が付かなかったけど道路にはたくさんのゴミが落ちているんですね

わーくさぽーと阿久和とはーとさぽーと阿久和の利用者は、天気の良かった日に、体を動かす目的も含めて道路のゴミ拾いを行いました。普段は気がつかなかったのですが、実際にゴミ拾いをすると「こんなにたくさんのゴミが落ちているんだ」ということに気付かされました。そして、「ゴミはゴミ箱に捨てる」ということが大切なマナーなんだということを改めて認識しました。

道路はゴミ捨て場ではありませんね。

広報けいせい

Keisei-fukushikai

発行
社会福祉法人恵正福祉会
神奈川県横浜市瀬谷区
阿久和南3-29-1
info@keisei-fukushikai.com